

# 田井の里からひろがる被災地支援

3・11東日本大震災の被害者支援の輪が田井地区でもひろがっています。

## ●筑波フィッシングクラブ

田井地区等の釣り愛好家の会、「筑波フィッシングクラブ」は、4月23日、会の積立金と支援金で、菊地宏さん所有のバスに詰めるだけのカツプラーメン、パン、紙おむつ、子供服、飲料水等を用意して、9名の仲間と東松島の避難センターに向き支援活動を行いました。



筑波フィッシングクラブが支援に行った東松島の光景

## ●後藤泉チャリティーコンサート

六所の美六山荘において、ピアノストの後藤泉さんが、東日本大震災の支援のため、6/11(土)チャリティーコンサートを開きました。集まった支援金は、国際文化交流劇団「曼珠沙華」の、福島県の被災者を励ますための公演に使われました。なお、「曼珠沙華」は、同じく原発事故のあったチェルノブイリの被災地域に居住している人たちの支援公演を何度も行っています。

森田源美(六所地区)

## ●臼井・神郡地区

「つくば道を花で飾ろう」という運動が続いている、臼井、神郡地区のみなさんが、東日本大震災の被害に遭われた方々のために花壇から応援メッセージを渡し、募金活動を行っています。

田井地区の区長さん、つくば市役所や臼井老人会の方々も参加して、4月10日、6月11日の2回にわたって行われました。「がんばろう!日本」の花文字を作った後、被災時刻に黙とうし、募金を集めました。募金は植松新聞店から被災地に届けられました。



この思いが被災地に届きますように

●その他に、田井の各地区でも支援金が集められ、被災地に届けられています。

## 人形浄瑠璃を観てみよう! 演じてみよう!



漆所に住む木彫刻家の酒井三徳さんは、茨城県でただ一つの人形浄瑠璃の一座、「真壁白井座」(桜川市)のメンバーです。酒井さんたちは、江戸時代からこの地域に伝わってきた伝統芸能を衰退させるわけにはいかないと、10年前から町をあげて復活に取り組んできました。

今回、カスミグループの「わたしの企画応援します」に応募、入選し、10月2日カスミつくばセンターにて上演することになりました(問合せは029-850-1824)。当日は、白井座による人形浄瑠璃の上演の他に、希望する人は衣装をつけて実演の体験もできます(事前に申込みが必要)。白井座ではこれからも長く継続していくために、広くメンバーの募集を行っています。たくさんの方々の参加をお待ちしています。

上野節子(小沢地区)

## グリーンツーリズムプログラム①

### 親子でオススメ! とって・つくって・たべる農業体験

筑波山麓田井地区の農家の協力のもと、農業体験が開催されます。収穫から加工し、それらを食べるまでの体験で、「カボチャスープ」「シソジュース」「福来ミカン生食」と3種の体験イベントが開催されます。それぞれ準備が始まっているということで、早速、開催農家さんへうかがってきました!

カボチャをつくるのは館地区の櫻井登さんと阿久津新一郎さん。カボチャづくり25年の櫻井登さんは近所の農家の中でも丁寧に野菜づくりをする評判の方。25年前、カボチャをつくる農家は少なく、試行錯誤からはじまったそうです。なので、カボチャに対する思い入れはひとしおです。1つ苗からつくるカボチャの数を決めていて、スープには年間30個という貴重なカボチャを提供していただきます。土づくりもこだわり、有機肥料を使ってできたカボチャの味はポクポクして甘いそうです。ちなみに作付けたカボチャは雪化粧



雪化粧などめずらしい品種もつくる櫻井さん

ミニカボチャ、みやこカボチャの3種。それらカボチャを「ぼんどう太郎」専属の料理人指導のもと美味しいポターージュに調理する収穫体験とポターージュづくりを開催します。

福来みかんの木と菊地さん



福来ミカンを育てるのは館地区の菊地定さん。菊地さんは以前田んぼだった場を有効活用して福来ミカンだけでなく、温州ミカンやリンゴ、ブルーベリーと様々な果樹を育てています。ミカンなど柑橘類は筑波山周辺が北限とのこと。寒い地域で育ったミカンは酸味が強く、甘酸っぱ

編集を終えて.....

筑波山麓での新たな取り組みが始まりました。豊かな自然や万葉以前から連綿と続く歴史、農を営み知恵を重ねて築いてきた暮らし、この地に愛着と誇りを持ち様々に活動する人々、「すそみ」は「すてき」に満ちています。そんな「すてき」を発信し、たくさんの人とわかち合いたいと思います。筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会ではホームページも制作予定。ご期待ください!

## すそみサポーター

敬称略

つくば市小田	大曾根隆
つくば市小沢	杉田慶也
つくば市神郡	桜水会(豊浦)
筑波大学	出口正義
つくば市六所	美六山荘
つくば市白井	鮎川隆雄

※協賛会員「すそみサポーター」募集中! 103000円

私たちが応援しています!

デザイン・小沢陽子(漆所地区)

い果実に育つとか。福来ミカンは、果肉を食べるだけでなく香りの高い皮も利用でき、お菓子、七味にと幅広く使われています。秋祭りで毎年好評の「すそみ茶屋の福来ミカンクッキー」にも使われます。

シソの様子を見守る森田源美さん



シソをつくるのは、六所地区の森田源美さん、森田文男さん、松崎伝一さん。シソは丈夫で手軽にできる作物です。種まきの時期をずらすことで、7月から10月頃まで収穫が楽しめます。シソジュースに使うシソは梅干しでおなじみの赤シソ。ジュースにすると鮮やかな赤色になります。そこに蜂蜜をいれると、とってもヘルシーです。シソには花粉症などアレルギー症状を軽減できる成分が含まれているそうです。今年の夏、定番ウメジュースのほかにシソジュースもいかがでしょうか?

安藤慧(里山建築研究所)

第20号

# すそみろく

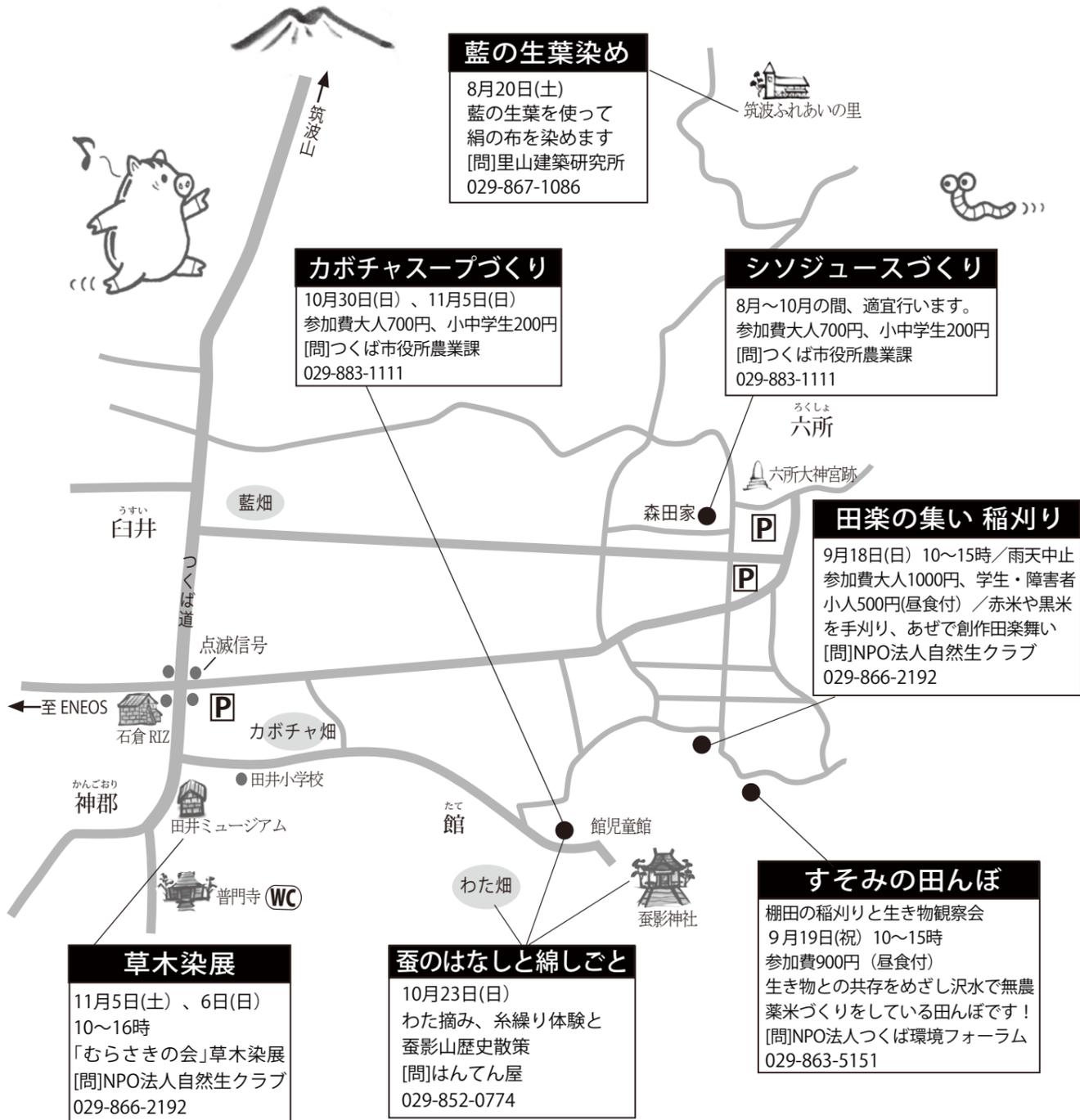
筑波山の山麓一帯を「すそみ」と名づけました

第20号(平成23年8月1日)

発行・すそみろく編集委員会 TEL029-866-1122 (田井の里地域づくり愛好会・森田) TEL029-863-5151 (NPO法人つくば環境フォーラム・田中)



# 筑波山麓グリーンツーリズム MAP&CALENDAR



**藍の生葉染め**  
8月20日(土)  
藍の生葉を使って  
絹の布を染めます  
[問]里山建築研究所  
029-867-1086

**カボチャスープづくり**  
10月30日(日)、11月5日(日)  
参加費大人700円、小中学生200円  
[問]つくば市役所農業課  
029-883-1111

**シソジュースづくり**  
8月～10月の間、適宜行います。  
参加費大人700円、小中学生200円  
[問]つくば市役所農業課  
029-883-1111

**田楽の集い 稲刈り**  
9月18日(日) 10～15時/雨天中止  
参加費大人1000円、学生・障害者  
小人500円(昼食付) / 赤米や黒米  
を手刈り、あぜで創作田楽舞い  
[問]NPO法人自然生クラブ  
029-866-2192

**すそみの田んぼ**  
棚田の稲刈りと生き物観察会  
9月19日(祝) 10～15時  
参加費900円(昼食付)  
生き物との共存をめざし沢水で無農  
薬米づくりをしている田んぼです!  
[問]NPO法人つくば環境フォーラム  
029-863-5151

**蚕のはなしと綿しごと**  
10月23日(日)  
わた摘み、糸繰り体験と  
蚕影山歴史散策  
[問]はんでん屋  
029-852-0774

**草木染展**  
11月5日(土)、6日(日)  
10～16時  
「むらさきの会」草木染展  
[問]NPO法人自然生クラブ  
029-866-2192



筑波山に見守られながら藍が育っています

## グリーンツーリズムプログラム② 衣にまつわるイベントいろいろ

農村の豊かな自然にふれ、食と農の体験をするのがグリーンツーリズムです。筑波山麓田井地区では、筑波山麓のグリーンツーリズムを推進するための協議会が発足し、さまざまな取り組みが始まります。ぜひご参加ください。

### 草木染め

田井地区の畑では藍が育っています。葉が茂る8月に、実際に畑で葉を摘み、その葉を使って藍の生葉染めを体験する会を企画しています。藍を育てているのは、昔紺屋をしていた鮭川林さん(19号で紹介)のご子息鮭川和行さん。藍染復活を計画していたところ、作業場所として予定していた納屋が震災で壊れてしまい断念しましたが、手に入れていた藍の種子を畑に蒔いて、花だけ

### 藍の生葉染め

- 用意するもの
- ・藍の生葉150g
  - ・絹の布地50g(生葉染めの場合、木綿は染まりにくいので絹がよい)
  - ・オキシドール
- ①花が咲く前の生葉を摘み、茎を取りのぞく。
  - ②水と生葉を数回に分けてミキサーに入れ、綿布で染料液を漉す。
  - ③湯通しした布を染料液に浸し、こまめに動かす。
  - ④軽くしぼり、布を広げて空気にさらす。③、④の作業を好みの色に染まるまで数回繰り返す。
  - ⑤水1ℓにオキシドールを10ccの割合で入れた液に15分浸ける。
  - ⑥水洗いし、天日干しする。

### 綿と絹

先生が草木染めと出会った時、雑草がこんなにもきれいな色を生み出すのかと、本当に驚いたそうです。また、雑草を採って山を少しでもきれいにしたいと考えたとのこと。それ以来、草木染めを通して、筑波の山を荒らさないことや、あそんでいる畑の活用を考え、身近な自然の魅力を感じてもらいたいとの思いから、草木染めを奨励されてきました。「山を見ると、色が見えるのよ」先生の目を通すと、四季折々の筑波山が万葉の色で彩られるのでしょう。

昨年引き続き、今年も館地区で綿を育てています。山麓の暮らしの中で、綿は昔から各家で栽培され、ふとん綿や木綿布に加工され、使われてきたそうです。栽培から収穫、手仕事での加工までを自分たちで再現してみたいと始めましたが、綿の種を分けてほしいなど反響もあり、今年も綿づくりに挑戦しています。育てた綿を摘んで、綿繰り(綿の種をとる作業)、綿打ち(綿をほぐす作業)、糸つむぎ(糸車で綿を糸にする作業)などを行なう体験会を企画中です。

また、館地区には蚕影神社があり、古くから養蚕の神様として信仰を集めてきました。昔、インドのお姫さ

## YOUNG GUNS GROUP

(有)ヤングガンズ 029-867-5577

新車・中古車販売 車のことならなんでも

<b>ガンズ</b> 本場インド料理専門店 つくば市天久保(吾妻中近く) 029-859-6677	<b>モンスター(門星)</b> 中華・アジア料理 デイズタウン B1 029-859-5566
--	---

	8月	9月	10月	11月
食のプログラム		シソジュースづくりはこの間適宜できます		
		18日(日) 田楽の集い 稲刈り 19日(祝) すそみの田んぼ	30日(日) カボチャ収穫体験とカボチャスープづくり	3日(祝) カボチャスープづくり 5日(土) 福来ミカン収穫体験と生食
衣のプログラム	20日(土) 藍の葉つみと藍の生葉染め		23日(日) 蚕のはなしと綿しごと わた摘み、糸繰り体験と蚕影山歴史散策	5日(土)、6日(日) 草木染展

だが、助けてもらったお礼に、蚕の化身となり絹を伝えたという金色姫伝説が伝わります。かつては、全国から大勢の参拝者が訪れ、奉納された絵馬が残ります。神社の例祭にあわせて歴史を学ぶイベントも予定。

- 藍の生葉染め体験会 8月20日(土) 藍の葉摘み(田井地区の畑)
- 藍の生葉染め(筑波ふれあいの里草木工房にて)
- 蚕のはなしと綿しごと 10月23日(日) 午前 蚕影神社歴史散策 午後 綿摘み、綿の加工体験

松本真朋(里山建築研究所)